

第85回麻布獣医学会 一般演題14

気管虚脱に対する多硫酸グリコサミノグリカンの 臨床試験結果

山下 瞬, 永井 涼, 栗原 学, 柳沢 洋喜,
金井 詠一, 信田 卓男, 茅沼 秀樹, 菅沼 常德

麻布大学獣医放射線学研究室

【はじめに】

気管虚脱は気管軟骨の支持力の低下により、発咳、呼吸困難が発作性に認められ、重症例では虚脱、失神などの全身症状を発現する疾患である。本症に対する治療法には、さまざまな外科的療法、内科的療法が実施されてきたが、いずれも確立された方法は見あたらない現状にある。そこで、今回、我々は関節軟骨疾患に應用されている多硫酸グリコサミノグリカン（アデクワン）が気管軟骨に対しても関節軟骨と同様の修復作用を発現することを予測し、オーナーの了解のもとに治療試験を実施したところ、比較的良好な結果が得られたので、その概要について報告する。

【材料と方法】

投与量は体重1 kg当たり多硫酸グリコサミノグリカンとして5.0 mgを週2回の割合で筋肉内または皮下に投与した。治療効果の判定は投与前と投与後1週間ごとに一般臨床症状の変化と発咳状態についてスコア評価した。また、投与前と投与後1ヶ月間隔でX線写真を撮影し、吸気中と呼気中の気管横径の変動率について計測し、症状との関連性について検討した。

【結果】

獣医師による評価では、投与後2週間後をピークに発咳回数ならびに発咳の強度に明らかな改善が認められた。オーナーによるアンケート評価においても発咳回数の軽減が認められた。また、胸部X線写真による気管横径の評価では、吸気・呼気中における気管横径の変動率に軽減が認められた。

【考察】

今回、難治性のイヌの気管虚脱に対して、軟骨基質であるグリコサミノグリカンを主成分とするアデクワンの臨床試験を実施したところ、発咳等の臨床症状に明らかな改善傾向が認められた。このことはグリコサミノグリカンの投与によって気管軟骨中のプロテオグリカン量が増加し、気管軟骨の支持力が改善したものと考えられた。また、同時に気管横径の変動によって発現していた気管粘膜の炎症が改善したものと考えられた。

また、今後さらに症例の集積に努め、詳細な分析をしていきたいと考えている。

最後になりましたが今回の臨床試験に御協力を頂いた諸先生方に深謝致します。